

2013年3月期(2012年度) 第2四半期決算説明会

2012年11月7日(水) 株式会社リョーサン



2012年度下期の経営の取り組み

セグメント別売上高推移

補足資料

資料取扱い上のご注意

このプレゼンテーションで述べられている業績見通し等の将来に関する記述は、 当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づい ており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。その 要因のうち、主なものは以下のとおりです。

- ・主要市場(日本、アジア等)の経済状況、消費動向及び製品需給の急激な変動
- ・ドル等の対円為替相場の大幅な変動
- ・資本市場における相場の大幅な変動等

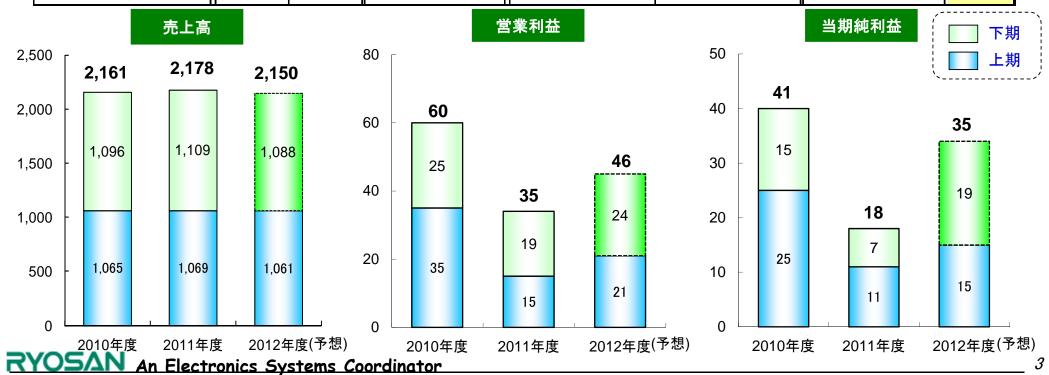
2012年度下期の経営の取り組み

セグメント別売上高推移

連結業績の概要

単位:億円

		2011	年度	2012年度							
	上期	下期		売上 高比	上期(実績) ^{前年} 同期比	下期(予想) 前年 同期比		売上 高比	前年比
売 上 高	1,069	1,109	2,178	%	1,061	△0.8	1,088	∆1.9	2,150	%	% ∆1.3
売上総利益	82	85	167	7.7	86	+4.3	87	+3.3	174	8.1	+3.8
販 管 費	66	65	132	6.1	64	△2.9	63	△4.0	128	6.0	∆3.5
営 業 利 益	15	19	35	1.6	21	+34.6	24	+28.1	46	2.1	+31.0
経 常 利 益	20	23	44	2.1	25	+21.0	28	+20.3	54	2.5	+20.6
当期純利益	11	7	18	0.9	15	+37.1	19	+154.0	35	1.6	+84.3
1株当たり当期純利益	32円94銭	22円96銭	55円90	銭	46円	40銭	58円	19銭	104円59	銭	+87.1

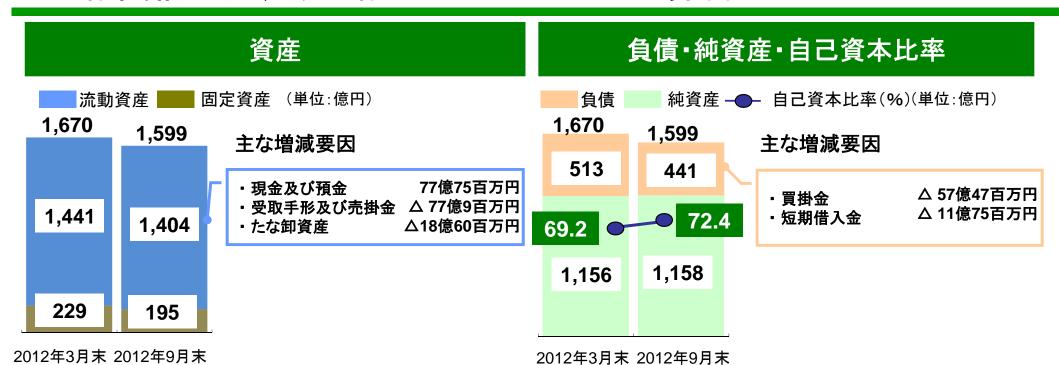


事業別業績の概要

単位:億円

			2011年度			2012年度							
					上期	下期		上期(実績)	下期(予想)		
					→ ₩	I 7 9]			前年 同期比		前年 同期比		前年比
<u>11</u>	道	₩	売 上	高	649	674	1,323	671	+3.4	678	+0.6	1,350	+2.0
半	導 体 事	業	営業	利益	11	12	24	17	+55.3	19	+52.9	37	+54.0
重	電子部品事業	**	売 上	回	278	275	554	268	∆3.5	271	∆1.6	540	∆2.5
电	子部品事	未 	営業	利益	10	7	18	9	∆13.0	9	+33.2	19	+5.3
重	子機器事	**	売上	ョ	111	135	246	96	∆13.8	113	∆15.7	210	∆14.8
電	子機器事	未 	営業	利益	2	5	8	4	+48.7	4	△20.2	9	+2.5
生	産事	業	売 上	高	30	23	54	25	∆16.2	24	+1.9	50	∆8.3
エ	性 す	未	営業	利益	1.9	0.2	2.2	1.3	∆33.7	1.7	+608.3	3.0	+36.4
	配賦不能	営業	費用		▲ 11	A 6	▲ 17	▲ 11	-	▲ 10	-	▲22	-
	<u>幺</u> ±	= ↓	売 上	高	1,069	1,109	2,178	1,061	∆0.8	1,088	∆1.9	2,150	∆1.3̈́
連	結	計	営 業	利益	15	19	35	21	+34.6	24	+28.1	46	+31.0

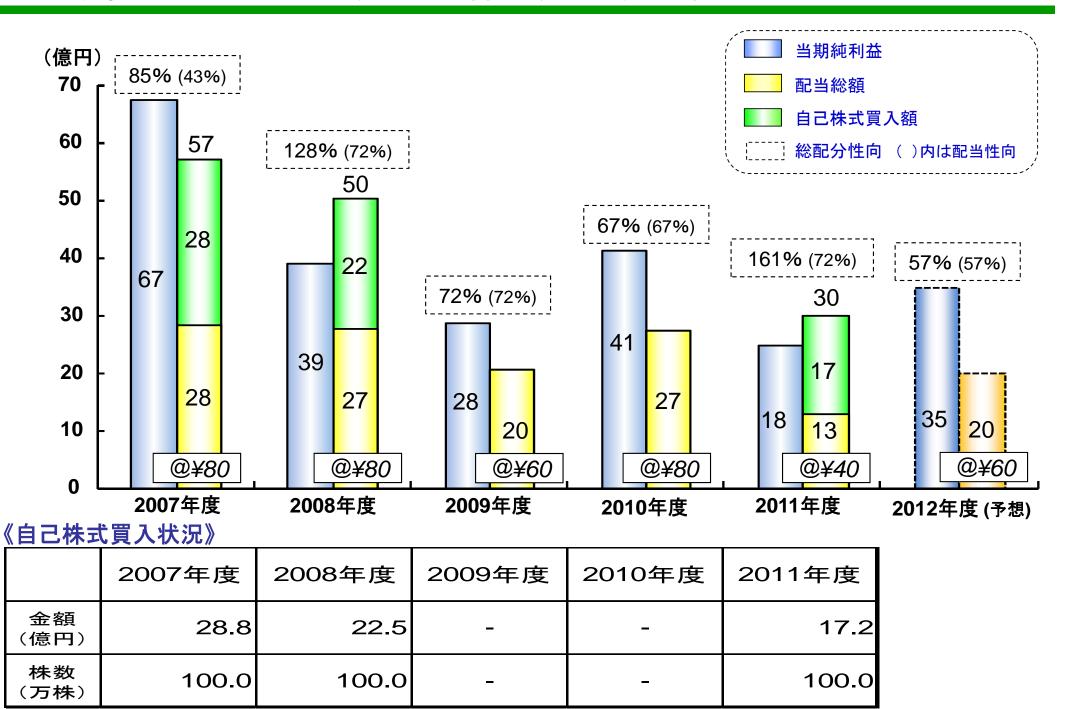
連結貸借対照表、連結キャッシュフロー計算書



主な増減要因

			土な瑁減安囚	
キャッシュフロー	2011年度	2012年度	・税金等調整前四半期純利益 - 売 k 佳佐の諸小	25億44百万円
(単位:百万円)	第2四半期	第2四半期	・売上債権の減少 ・たな卸資産の減少	69億28百万円 14億76百万円
営業CF	△ 4,712	6,260		
投資CF	△ 382	1,491	・定期預金の払戻	15億00百万円
財務CF	407	△ 1,249		
フリーCF	△ 5,094	7,751	・配当金の支払い ・短期借入金の減少	△ 6億69百万円 △ 5億16百万円
現金及び現金同等物残高	38,183	40,387		

当期純利益と配当総額・自己株式買入額の推移



2012年度下期の経営の取り組み

セグメント別売上高推移

2012年度下期の経営の取り組み

足下を固める

- ◇収益体質の改善
- ◇財務体質の改善

グローバル化の推進

- ◇急成長する新興国市場への取り組み強化
- ◇グローバル化する日系顧客への対応強化

マルチベンダー化への取り組み強化

◇海外半導体事業に経営資源を積極的に投入し、事業の再構築を図る

グローバル化の推進(急成長する新興国市場への取り組み強化)

参考1

インド市場への進出

1. 名称: シンガポールリョーサン インド支店 (Singapore Ryosan Pte Ltd India Branch office)

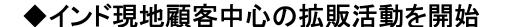
2. 支店所在地: インド カルナタカ州 バンガロール

#18 Second Floor, Team Work Building,

Chinnaswamy Mudaliar Road(Off: Queens Road),

Tasker Town, Bangalore 560051, Karnataka, India

3. 従業員数: 計3名





ヨーロッパ市場への進出

1. 名称: リョーサンヨーロッパ

(Ryosan Europe GmbH)

<u>2. 支店所在地</u>: ドイツ ミュンヘン

Freisingerstr. 30/2 OG rechts, 85737 Ismaning,

Deutschland

3. 従業員数: 計4名

◆欧州進出顧客へのサービス・サポートを開始



2012年度下期の経営の取り組み

セグメント別売上高推移

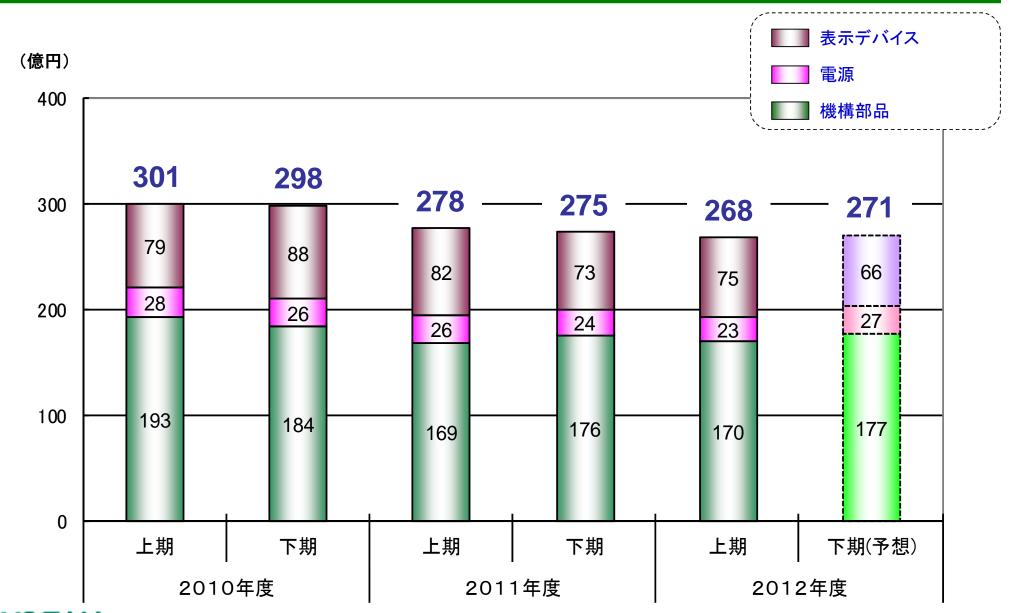
半導体事業の売上高推移(商品別)

10年度からの概況:主力のシステムLSIの車載・電装向け、デジタルカメラ向け等が業績を牽引。 12年度見通し:下期予想は前期比ほぼ横ばい。通期予想は1,350億円、前年比+2.0%。



電子部品事業の売上高推移(商品別)

10年度からの概況:ゲーム機用機構部品等の減少により、減収傾向。 12年度見通し:下期予想は前期比ほぼ横ばい。通期予想は540億円、前年比△2.5%。



電子機器事業の売上高推移(商品別)

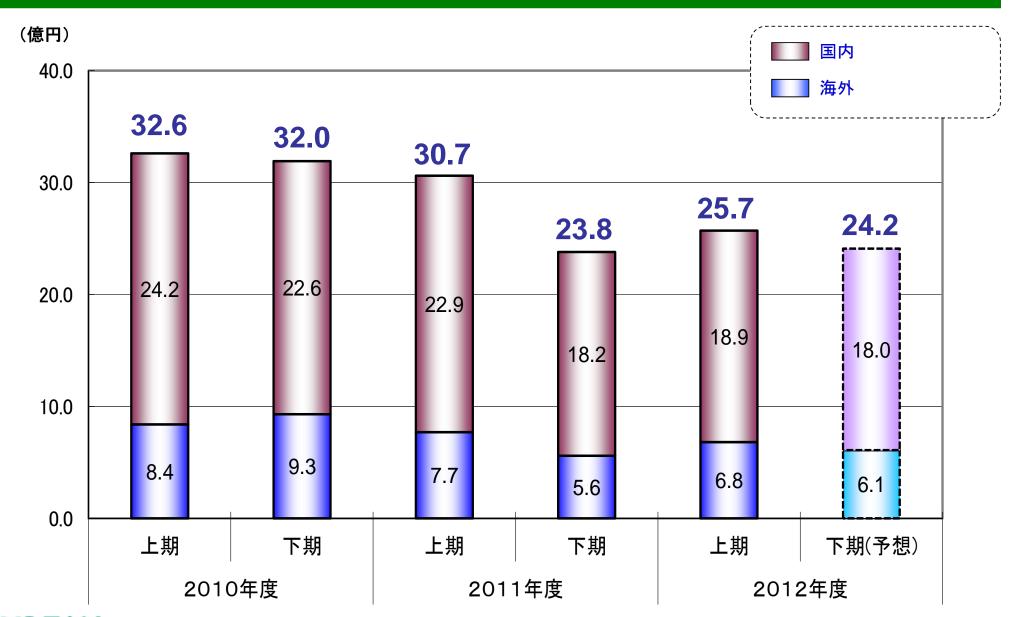
10年度からの概況:車載・電装用のシステム機器等の減少により、減収傾向。

12年度見通し: 下期にMFP用のシステム機器等が増加するものの、通期予想は210億円、前年比△14.8%。



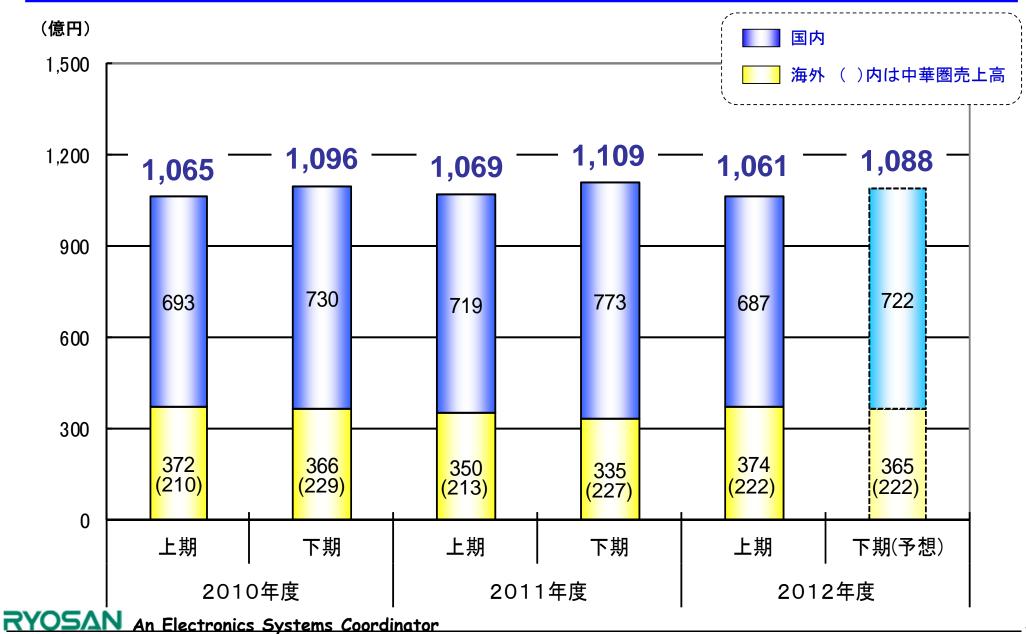
生産事業の売上高推移(地域別)

10年度からの概況:TV用、FA機器用のヒートシンク等の減少により、減収傾向。 12年度見通し:下期予想は前期比ほぼ横ばい。通期予想は50億円、前年比△8.3%。



国内・海外の売上高推移

海外比率は30~35%で推移。海外売上高の約60%が中華圏で、210~230億円で推移。その内、約35%が現地顧客向けの売上高。12年度通期は国内1,410億円、海外740億円の見通し。



2012年度下期の経営の取り組み

セグメント別売上高推移

主要得意先

《売上高上位40社》

	上位1~10社	上位11~20社	上位21~30社	上位31~40社
顧客名 (アルファヘ・ット順)	キヤノン デンツー 日 三菱 日 三 オ ナ ソー 所 三菱 電 電 コ ロ ス オ ナ イ オ ナ イ オ コ コ ロ ニ ツ ア フコム	アルパイン アルプス電気 ブラザー工業 カルソニックカンセイ カシオ計算機 富士フイルム マミヤ・オーピー 任天堂 SAMSUNGグループ (韓) 住友電装	アドバンテスト クラリオン 富士ゼロックス JVCケンションルクット オールディンレー電気 東 芝テック ママハ 矢崎計器・部品	富士通 古野電気 ジーエパーポープ リーポーク リーポーク リーカーの リーカーカーカーカーカーカーカーカーカーカーカーカーカーカーカーカーカーカーカ
売上高 構成比	(上位10社) 52%	(上位20社) 68%	(上位30社) 75%	(上位40社) 78%

《事業別 売上高上位5社》

半導体	電子機器
日立製作所	デンソー
三菱電機	富士ゼロックス
日本電気	日立製作所
ニコン	ニコン
パイオニア	パナソニック
(上位5社)	(上位5社)
50%	54%

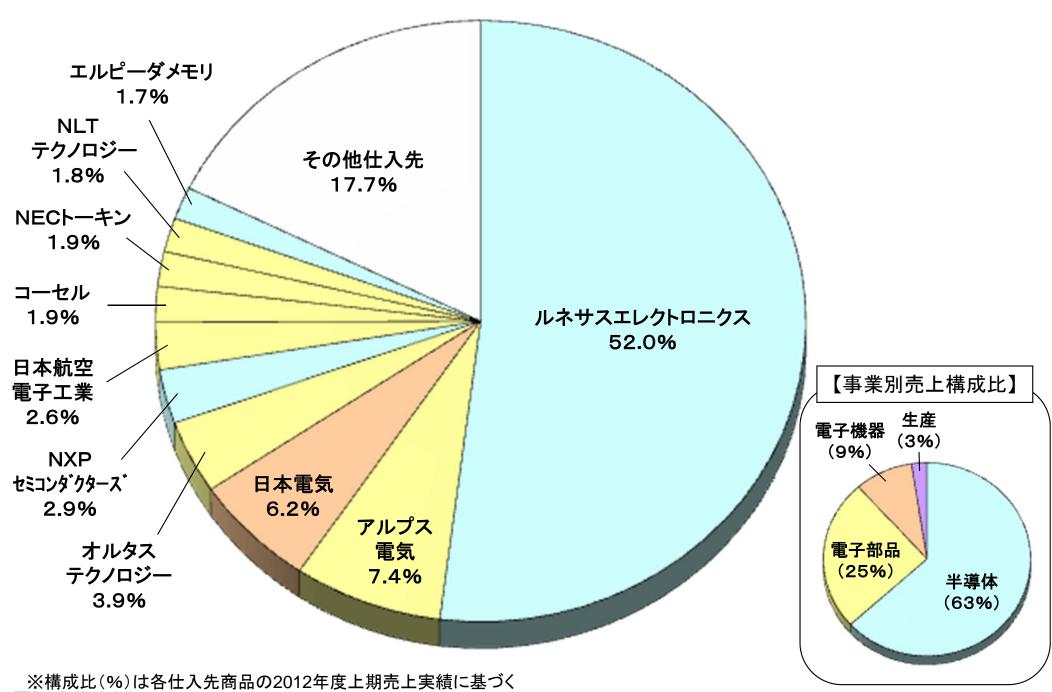
電子部品	生産
キヤノン	デンソー
カルソニックカンセイ	ファナック
三菱電機	日立製作所
日本電気	三菱電機
任天堂	パナソニック
(上位5社)	(上位5社)
31%	44%

(アルファヘ・ット順)

(アルファヘ・ット順)

- ※敬称略
- ※順位、構成比(%)は2012年度上期売上実績に基づく
- ※(台)は台湾、(韓)は韓国の顧客

主要仕入先



RYOSAN An Electronics Systems Coordinator